

全開放型ホロ「オープンスライダー」で 物流の2024年問題と労働災害防止に寄与

株式会社メイダイ（本社：愛知県豊田市）は、トラックに架装する全開放型ホロ「オープンスライダー」が2010年の発売以降、販売台数を伸ばし520台に到達。

平ボデーのシート掛け作業に比べ、ジャバラ状のホロで荷台を覆う「オープンスライダー」は大幅に荷役時間が早くなり、労働時間の短縮につながる。又、荷台上でのシート掛け作業を排することで、転落の危険性がなくなる。物流業界をとりまく2024年問題などから、今年に入り更に引き合いが多くなっている。

オープンスライダーの特徴

天井クレーンなどで上からの積込が必要な場合、一般的なウイング車が使用できず、平ボデーの荷役が求められる。

平ボデーでの荷役のネックになるのがシート掛けである。

平シート自体が60kgにも及ぶことがあり非常に重い。雨に濡れると更に重くなる。その為、シート掛け作業はドライバーにとって身体的負担が大きい。

オープンスライダーはトラック荷台の左右のレールの上でローラーのついたホロ骨をスライドさせることで、荷台をシートで覆うことができる商品。

シート掛けに比べ、時間を大幅短縮できることがメリット。20分程度かかっていたシート掛け作業が5分程度に短縮。

荷台上での作業を排して地上で開閉操作ができるため、ドライバーが荷台から転落する危険性もなくなる。

オープンスライダーの最大の特徴はスライドさせる開閉操作が競合他社製品に比べて軽いこと。

フロントの固定はキャッチのみで巾着状の絞りロープなど無い。作業性、防水性に優れる。

リヤ門口ごと観音扉もスライドする仕様も可能。メイダイ独自の観音扉仕様は高い気密性が求められる積荷にも対応できる。

石部運輸倉庫株式会社様での導入例

石部運輸倉庫株式会社（本社：滋賀県湖南市）では2014年よりオープンスライダーを積極的に計画導入されている。

「鋼材輸送がメインのため天井クレーンによる積み下ろしが多く、平セミトレーラードライバーのシート掛けの体力的負担と時間的負担が大きな課題であった。この課題を解決するためにオープンスライダーを導入。労働時間の短縮と労働環境を飛躍的に向上させることができた。この結果を踏まえ大型車にも導入。現在ではシート掛けを必要とする車輛はほとんど無くなった。荷役時のシート掛けによる車輛滞留時間も無くなり荷主への貢献にも繋がっていると考えている。又、ドライバーが働きやすい環境をつくることで将来の人手不足への対応の一つになるのではと期待している。」（武田社長）

【会社概要】

社名：株式会社メイダイ

本社所在地：愛知県豊田市青木町1-16

電話番号：0565-45-4832

担当：車輛 division 服部

HP：<https://www.medai-net.co.jp>

